

「段階的手術としての palliative Rastelli の手術成績の検討」

1. 研究の対象

2011年4月1日より2025年3月31日までに当院にて姑息的右室-肺動脈導管術 (palliative Rastelli 手術) を受けられた方

2. 研究目的・方法

肺動脈閉鎖症を中心とした肺血流の確保が必要な症例に対し、これまでは姑息手術として主に Blalock-Taussig シヤントを施行してきた。Blalock-Taussig シヤントは優れた術式である一方、急性期の血行動態が不安定な症例が一定数あり、近年その代替として、急性期の血行動態が安定する姑息術としての右室-肺動脈導管手術、いわゆる palliative Rastelli 手術を採用する症例が増加しているが、その早期・中期成績は不明である。本研究にて術後成績から当該手術の妥当性を検討する。

研究期間は (倫理申請承認後)~2026年4月までとする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

性別、原疾患、palliative Rastelli 手術時の年齢や手術時間等の手術の情報、またそれまでに行われたもしくはその後現在までに行われた各手術時情報年齢や体重、術式、また、カテーテル検査で得られたデータなど。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県立こども病院 心臓血管外科 高原真吾 (研究責任者)

住所：宮城県仙台市青葉区落合 4-3-17

電話番号：022-391-5111